

## Ⅱ 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

### 博士前期課程カリキュラム・ポリシー

豊橋技術科学大学大学院工学研究科博士前期課程のディプロマ・ポリシーに基づき、必要とする授業科目を学部から連なる「らせん型教育」により全専攻で開設しています。修得すべき授業科目を通じて、高度な専門知識と応用力、豊かな教養と柔軟性のある思考力、創造性を養う教育を行うとともに、現実的な技術課題に即した実践力を養うための体系的な教育課程を次の方針に基づき編成しています。

1. 学際的分野，新たな分野に対応でき，実践的技術者として必要な素養を身につけるためのユニークな各種プログラムを設置し，学生が選択の自由度を持つコース制度を展開しています。
2. 共通科目として，「人文科学科目・社会科学科目」，「自然科学科目」，「研究倫理科目」を設置しています。特に学部3年次から博士前期課程までの4年間を通じて，専門科目の基盤となる豊かな素養を身につけられるように設計しています。
3. 専門教育として，専攻共通科目とコース選択科目を設置しています。修士論文作成のための特別研究や輪講は専攻共通科目に配置されています。
4. 最先端の研究成果や科学技術の動向等を学ぶため，学外の第一線の研究者・技術者による特別講義を設置しています。
5. 実社会での技術者・研究者の問題への取り組み方を体験させ，実務におけるプロフェッショナル感覚を養い，多様な文化・価値観の中での実践的課題解決力や企画力，創造力を養成するため，企業や学外機関をパートナーとして学外履修を行う，二者間協同教育プログラムである実務訓練（海外を含む）等を設置しています。
6. 授業科目のシラバスにおいて，その科目の目標と達成目標，ディプロマ・ポリシーに示す知識・能力とその科目の学習・教育到達目標との対応を明示します。そして各科目の達成目標の達成度に基づく公正で厳格，かつ客観的な成績評価を行い，ディプロマ・ポリシーに示す知識と能力の達成度を評価します。修士論文又は特定課題の研究成果に対しては，審査基準及び審査方法を明示し，それに基づき研究成果の審査及び試験を行い評価します。